



NPO えひめ盲ろう者友の会 会報
—— 2014・新春号 ——

も く じ

1. ピクニック交流会レポート
2. 初めてのピクニック参加
3. 「第19回中・四国盲ろう者大会(鳥取)」レポート
4. 一言集 第19回中・四国盲ろう者大会
5. 行事案内
6. 編集後記



ピクニック交流会レポート 手作りピザ体験

林 弘之

6月30日日曜日。今日は友に会のピクニック旅行に参加しました。長時間の外での活動は苦手でしたが、一緒に行こうとお声を掛けていただいたので、久しぶりに頑張ってみることにしました。

空は曇天。暑すぎず、これならちょうど良いねと通訳をしてくださった武市さんと話していたんですが……。

さて、最初の目的地では手作りピザ体験。ピザは好物なので、楽しみでしたが、わたしの飲み込みが悪いのか作業は最初から難航。武市さんに手伝ってもらいながら、何とか最初の工程を終えることができました。

生地を発酵させている間に、甘夏を手絞りでジュースにする体験もさせてもらいました。

我が家には電動の絞り機があるので同じようなものを想像していましたが、何と完全手動の手回しハンドルでした。

その後、発酵の終わった生地を伸ばして、ピザソースを塗って、具材を乗せて、石釜へ。

生地を捏ねるのに十五分、発酵に十分、焼くのにかった時間は何と僅か二、三分でした。

予め釜を暖めておいていただいたからなんだろうが、それにしても早かったです。

釜の側では木を燃やした時の独特の良い匂いがずっとしていました。

肝心の出来上がったピザは案外ずしりと胃に重く、半分しか食べられませんでした。その分良いお土産になりました。

味噌を使ったソースがほんのり甘く、家族にも好評だったので、いずれ機会があれば今度は家族で行ってみるのも良いかもしれません。

初めてのピクニック参加

川井 泉

とにかく初めての参加で緊張していました。いっぱい他の人と交流するつもりでしたが、行くところ行くところ、食べるものが豊富にあってそちらに集中してしまいました。

自分で初めて作ったピザもおいしかったですし、ところどころでバスが停まるとアイスクリームをついつい…。合計3個は食べたと思います。

そんな感じで交流が十分できたはずはありませんが、個人的には非常に楽しかったです。みなさんあったかい雰囲気、初対面の私を受け入れてくれました。

人見知りの傾向のある私なので、楽しめるか不安だったのです。後半は緊張もなく存分に味わって楽しんでいました。

盲導犬のフォリィともべったりできて幸せでした。お仕事をする犬ってすごいなあと思う反面、こうやって活動している犬がいて、人間と共生しているという事実、地球の未来に期待できそうな気持ちになります。

ただ、コミュニケーションの仕方が不慣れな自分にはがゆさを感じもしました。それでガイドヘルパーの講習を受けたいなあと思いました。実際9月に宇和島で講習を受けるつもりです。

次の機会にはもっともっと皆さんと交流して、楽しさを共有したいです。

未熟者ですが、どうかこれからも仲良くしてやってください。



「第19回中・四国盲ろう者大会(鳥取)」レポート

中西 信廣

今年は、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」と、砂丘の国、鳥取で開催された。風はあるものの、暖かく気持ちよいので、駅より徒歩で、会場に入った。

(1) オープニング 「ジェンベ太鼓演奏」

ジェンベ太鼓と言うのは、西アフリカの楽器で、くり抜いた木の上に羊の革を張ったものを、男性は手の指や手のひらで、女性はバチを使い演奏するもので、音は、高く広大な草原アフリカならではの響きである。こちらもダンダン高揚してくる感じだった。

(2) 全体会

地元の学生と盲ろう者との交流発表から始まり、情報交換のコーナーでは、便利な機械や生活上の工夫等、もっと時間があれば、いろいろ聞けたと思うし、来年の愛媛大会でも取り上げたいなあと思ったぐらい良かった。

特に印象に残ったものは、「もっと触る技術を、高めよう」と言われた人がいて、見えないものは、第2の眼である手で触って確かめる事の大切さを再確認すると共に、ベー（中西のこと）も、かなり聞こえが悪くなり、触れて確かめる事が多くなったなと思った。

「クイズ」のコーナーでは、各県1問を出し、うちの○か×を、上げるもので、引っかけ問題もあり、うちをクルクル回すシーンもあり楽しかった。

(3) 懇親会

始まる前に、理事長に「乾杯の音頭」を頼まれた。(ドキーン!)、壇上に上がりグラスとマイクを持つ、話始めるが、やはり、あがってしまい、言葉が早くなり困った。

大役を終え、宴会を楽しんでいるとアトラクションが始まった。「麒麟獅子舞(きりんじしまい)」という伝統芸能で、雅楽に合わせ、ゆっくりと舞う獅子、優雅である。

後で獅子を触らせてもらい、大きな歯も触った。



話も、我ら友の会のメンバーや、他県の方、会いたかった方と、ヒラヒラ舞ったが、指点字も、手のひら書きもうまくいかず、打ちおとされっぱなし。

楽しい宴会も、あっというまに、お開きとなってしまった。
スバラシイ大会だった。

(4) 次回

さて、来年の「中・四国大会」は、愛媛の担当です。

さらには20回の記念大会です、

愛媛の「おもてなしの心」でお迎えし、皆様の心に残るような大会にしたいと思いますので、皆様、協力よろしくお願いします。

これにて、大会レポートを、終わらせていただきます。

一言集 第19回中・四国盲ろう者大会

編集：柳井 紀子

11月9日（土）・10日（日）

第19回中・四国盲ろう者大会 in 鳥取

9日（土）JR松山駅を朝7時に出発しました。

～出発に際して一言～

- ・これから2日間・・何とか乗り切れるかととても不安です。（半田和美）
- ・お早うございます。2日間、みんなと楽しめたらいいなと思っており
ます。頑張りまーす（渡邊賀代子）
- ・お早うございまーす。初めての経験です。優しく頑張ります。（平尾
裕美）
- ・バスでの移動ということでとても便利だと思います。観光で色々な珍
しいものに触れることを楽しみにしています。

（佐々木悦子）

- ・お天気が心配ですが、みんなと楽しく過ご
せたらいいな—と思います。よろしくお願いします。（徳永五月）



＜三島・川之江ＩＣで乗車＞

- ・初めての参加で大会がどんな様子か分かりませんが、観光は楽しみにしています。今回介助する安藤さんとのコミュニケーションについて心配はないですが、会場の様子が分からないのでトイレ介助など大会スタッフの方に場所など聞きながら行いたいと思います。（高橋節子）

～待ち合わせ場所を２カ所回って、全員が揃った所で
半田さんからのお話～

“全員揃ってホットしました。今日の運転手は新日本観光バスの井門さんです「井門さん、安全運転をお願いします。皆さん拍手～」パチパチパチ・・・”

その後、宿泊場所がホテルモナーク鳥取から鳥取シティホテルへ変更になったことの説明、夕食後のモナークホテルでの入浴希望などについての話しがありました。

大会会場であるホテルモナーク鳥取への到着は開会式が始まる３０分前になりました。座席をバタバタ確保して何とか開始に間に合いました。オープニングでは『ジェンベ太鼓』の演奏があり家族総出での演奏で、大会にちなんだ替え歌を披露してくれるなど楽しい時間を過ごしました。盲ろう者の方達には風船が配られ、太鼓の演奏を風船から伝わる振動で感じ取っていました。また、舞台にいる演奏者の方にＳさんは握手に行き「とても大きな手だった・・・」と驚いていました。全体会では、クイズが出され、うちわに立体的に貼り付けられた○と×で盲ろう者の方達が回答を示していく方法で行われました。各地域にちなんだ問題で

易しい内容から難しい内容と様々でしたがとても盛り上がって皆さん楽しんでいました。

17日の観光コースでは、『仁風閣』見学の際はまだ天気は大丈夫でしたが、『砂の美術館』に着く頃には雨と風がひどく、到底砂丘の方への見学は出来る状態ではありませんでした。しかし、美術館内の砂の彫刻は想像以上に迫力がありとてもすばらしいものでした。展示されている大きな彫刻は触ることはできませんが、小さいサイズの砂の彫刻も今回のために準備されており、触ってもいいようになっていました。時間に制限があり館内全ては回り切れなかったのは残念でしたが、まだ足を運んだことのない方には是非一度行って欲しい所だと思いました。

～大会に参加しての感想を聞きました～

- ・ 砂の美術館がとてもきれいで良かったです。歓迎パーティも他の参加者とたくさん話しが出来て楽しかったです。（山下茂）
- ・ 珍しいお土産が色々あっていくつか買いました。（大内カスミ）
- ・ 初めての参加でした。歓迎パーティでの料理はおいしかったし、抽選では3等が当たりました。知っている人に会い、話しもできました。宿泊のホテルでは愛媛からの参加者達と色々話しをして交流が来ました。2日目の観光では朝、雨が降り砂丘が見られなかったのは残念でしたが、砂の彫刻が想像していた以上に素晴らしく驚きました。昼食もとても美味しかったです。愛媛の参加者が無事に2日間楽しく行動できました。皆さん疲れたと思います。帰ってゆっくり休んで下さい。（高橋節子）
- ・ 歓迎パーティだけでなく、今回、大会中に出た料理はすべて美味しく最高でした。2日目の朝食はバイキングだと思ったら各自お膳で準備

されていたし、2日目の昼食はお弁当だと思ったらこちらも各自のお膳でした。観光コースに参加した際、広島の大杉さんに久しぶりに会い、とても嬉しかったです。大会スタッフの方達にはとても親切に、よく気配りして頂きました。観光では、雨や風で困りましたが、天気が良かったら砂丘にも行きたかったのですが、残念です。でも今回の大会は今まで参加した大会の中で最高に良かったです。（安藤アキ子）

- ・大会では、皆さんに手伝ってもらいながら他の参加者と交流出来て良かったです。楽しかったです。食事に関しては、他の所と同じような感じでした。以前と比べて、視力や体力がだんだん落ちてきましたが、通訳介助の人達もいるので大丈夫です。まだまだ元気ですので、今度また参加したいと思います。愛媛で来年大会がありますが、他県の参加者もたくさんいると思いますので、是非参加したいです。ありがとうございました。



（石川孝司）

- ・高齢になり、体力的にしんどくなりました。夜は足元が見えにくく石につまずいて転びそうになることもあります。大会中は石川さんの着替えや食事の手伝い、トイレ誘導などをしました。お土産を買う時も一緒に見に行きました。宿泊したホテルの部屋のトイレは段差があったので誘導する際は慎重に行いました。（安藤 弘）
- ・9日の開会式のジェンベ太鼓の演奏は体に音が響いて少し聞こえました。良かったです。10日は雨で残念でした。（真鍋法子）
- ・歓迎パーティでは、外国の方が太鼓演奏している所まで行き握手をしました。とても大きな手でした・・おそらく身長もとても高いのだと思います。食事の際、蟹をたくさん食べたので最後のご飯が出てきた時にはお腹がいっぱいで食べられませんでした。また、○と×が

書かれたうちわを上げてクイズに答えるという内容があり、間違った所もありましたが一生懸命考えて勉強にもなり良かったです。（観光コースについては）以前、鳥取砂丘に来たことがあります但美術館はなかったです。新しく作られたのですね。砂の彫刻、良かったです。

（佐々木悦子）

- ・ 2日間とても楽しかったです。大会の時はなかなか大変だったので一生懸命伝えて頑張りましたが、実際伝わったかどうか心配な面もあります。でもみんなが協力し合ってお互いに助け合っていたので何かほのぼのとして楽しかったしチームワークの良さも改めて感じました。また来年も是非参加したいと思います。皆さん、お疲れ様でした。（渡邊賀代子）

行事案内



1 総会＆お花見

2014年 4月6日（日） 10:30～

愛媛県視聴覚福祉センター 和室

12:30～

お花見の場所については未定

2 第20回中・四国盲ろう者大会（今治大会）

2014年 11月15日（土）16日（日）

場所：今治市総合福祉センター「愛らんど今治」

日程：15日（午後）開会式、全体会、懇親会

16日（午前）見学・交流

みなさんのご協力、ご参加よろしくお願いします。

もうろうの木 編集委員長 林 弘之

あけまして、とご挨拶させていただくには少々遅いですが、ここに2014年第1号をお届けいたします。

さて、中西さんのレポートにもあったように、今年の中・四国大会が愛媛で開催されます。それも、記念すべき第20回大会です。ということは、いつもとは違う何かが起こるかも。さあ、みなさんで盛り上げていきましょう。

このもうろうの木でも事前特集的な何かができればいいのですが、果たしてどうなるか。

というわけで、次号もよろしくお願いします。

特定非営利活動法人 **えひめ盲ろう者友の会**

〒791-8016 愛媛県松山市久万ノ台 594-5

Tel 090-7780-8404 Fax 089-926-0282

E-mail tomonikai@db-tarzan.no-ip.info

URL <http://www.db-tarzan.no-ip.info/tomonikai/>

編集責任者 林 弘之 発行責任者 高橋 信行

